



社 名 株式会社エコペーパーJP
住 所 愛知県尾張旭市晴丘町東82番地 1
代 表 者 代表取締役社長 堀田 豊
設立年月 2008年12月
資 本 金 3億円
従業員数 132名(2026年3月31日現在)
事業内容 印刷用紙・段ボール原紙の製造販売、機密文書の溶解処理
ISO認証g ホームページ参照
FSC®C132899

SUSTAINABILITY

Eco Paper JP

CSR REPORT 2026



環境報告書2026年版
株式会社エコペーパーJP

エコペーパーJPのサーキュラーエコノミー	2
環境への取り組み	3
地域社会への取り組み	5
BCP	
安全衛生活動、コンプライアンス	6
人材育成、ジェンダー平等	

環境方針

基本理念

株式会社エコペーパーJPは、古紙のリサイクル事業を通じて自然環境の保全と資源の保護に努め、豊かな地球と住みやすい社会の構築に貢献します。

行動指針

当社はリサイクル工場として意識を持って、地球環境との調和及び、地域社会との共生を大切にします。又、環境保全の推進を経営の最重要課題の一つとし、以下の通りの行動指針を定め、循環型社会の構築に寄与致します。

- 1.環境関連の法規制および取引先・業界・協定・地域社会等との同意事項を遵守いたします。
- 2.環境マネジメントシステムに基づいた継続的な改善と環境管理体制の強化を行い、環境汚染の予防、及び環境保護に努めます。
- 3.環境負荷の小さい製品作りのため、工程の効率化、資源の有効利用、新製品開発を行います。
- 4.地球温暖化防止のため、省エネルギーとエネルギーの有効利用を推進します。
- 5.構成員への環境教育・啓蒙活動を継続的にを行い、環境意識の向上を図ります。
- 6.地域社会と調和を図り、地球環境の保全と共に、生物多様性、及び生態系の保護に努めます。
- 7.当社で働く全ての人がこの方針を認識し、行動するように周知徹底するとともに、社外に公表いたします。

2023年4月1日 株式会社エコペーパーJP

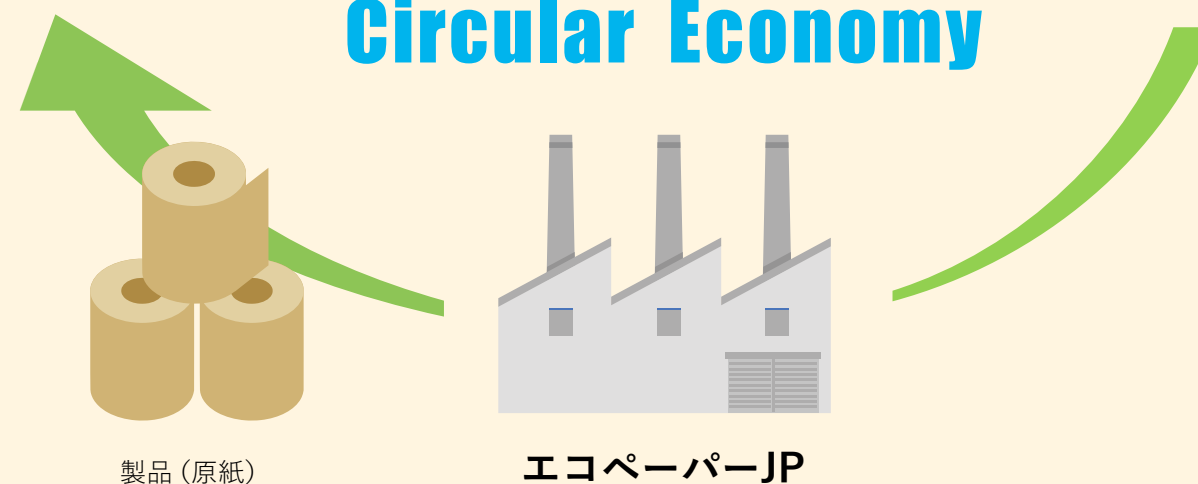
代表取締役社長 堀田 豊

エコペーパーJPのサーキュラーエコノミー

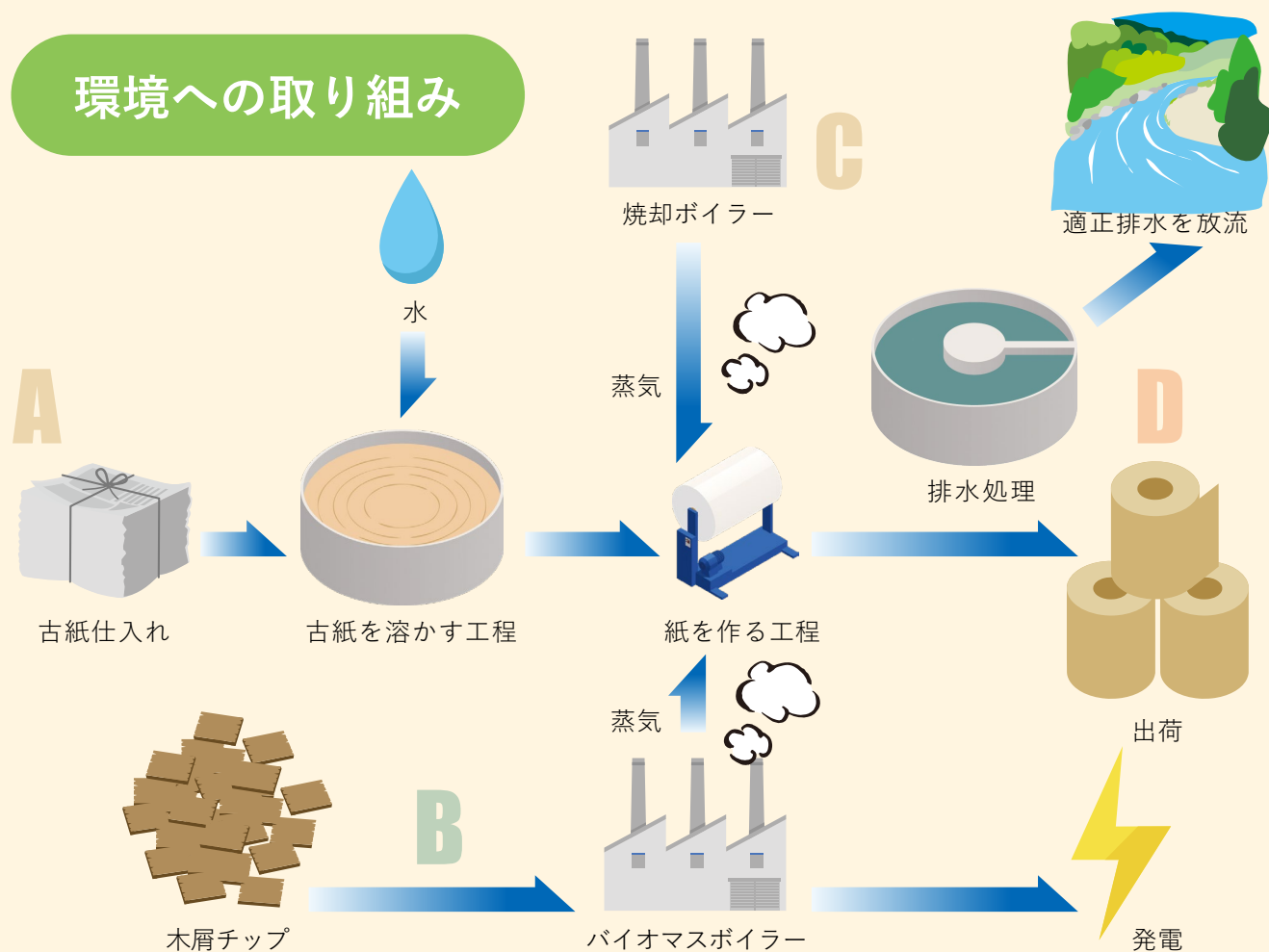
エコペーパーJPでは、使い終わった紙（古紙）をリサイクルし、新たな紙を製造しています。弊社で製造した紙は加工会社様で段ボールや雑誌などに加工され、消費者の皆様へ届きます。そして、消費者の皆様が資源として出してくださった古紙が弊社へ入荷され、また新しい紙へ生まれ変わっています。弊社ではこれからも、限りある資源を有効に使うべく、リサイクルできる紙の製造を続けてまいります。



Circular Economy

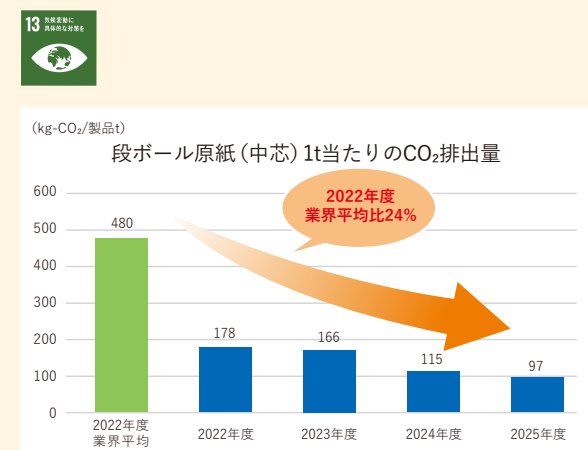


環境への取り組み



二酸化炭素排出量

弊社では、2030年までに2019年度比で二酸化炭素排出量66.4%削減を目標としています。バイオマスボイラーでのエネルギー生産や、省エネ設備の導入、LEDへの交換、電気自動車の利用、愛知Greenでんきの購入などにより、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。



※算定方法は、日本製紙連合会の紙・板紙のPCR算定方法に則り算定しました。

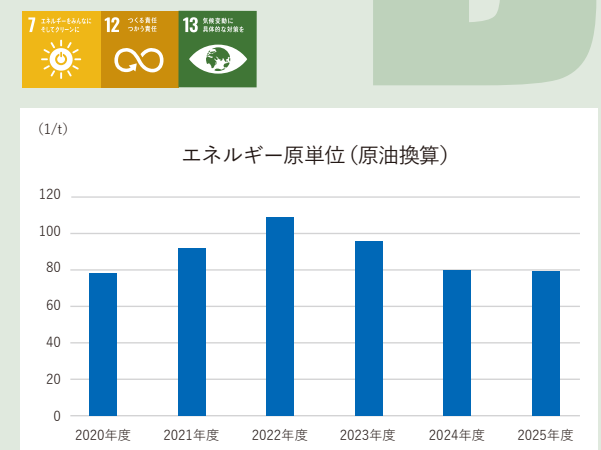
紙のリサイクル

弊社では、古紙を主原料とした再生紙の製造を継続し、資源循環型社会へ貢献することを目標としています。弊社で生産している紙製品は、全て古紙100%でできています。紙をリサイクルし、省資源化、廃棄物削減などに貢献しています。



エネルギーに関する取り組み

弊社では、バイオマスボイラーで生産に必要な蒸気や電気をつくっています。燃料は建築廃材由来の木屑チップを使用しており、限りある資源を有効活用しています。また、発生した蒸気を利用して自家発電を行い、省エネルギーやCO₂排出量削減による環境保全に貢献しています。その他にも、愛知Greenでんきの購入やLED電球への交換、電気自動車の導入などを行っています。※エネルギーとは、購入電力と化石燃料を使用した際のエネルギー



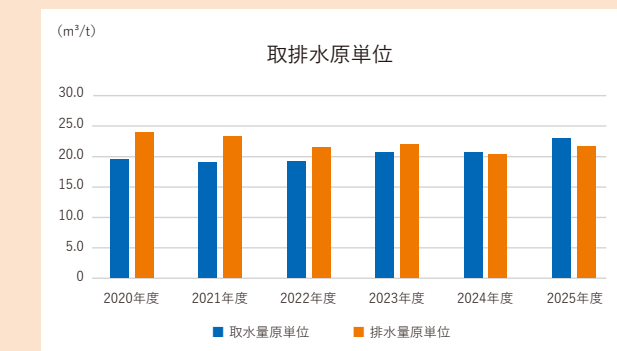
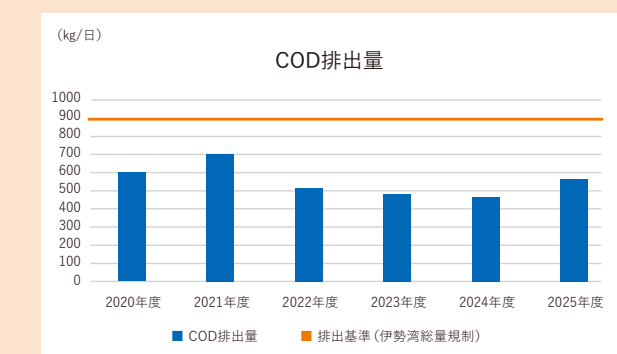
産業廃棄物の有効利用

弊社から排出する産業廃棄物のうち、大部分はセメント原料などに再資源化されています。また、廃棄物の削減を目標に、排出される廃プラスチック類を破碎し、フラフ燃料に加工したり、生産工程で発生する製紙スラッジを燃料として使用して廃棄物の削減に貢献しています。焼却ボイラーで発生した蒸気は、紙を乾かす工程で使用されます。



取排水管理

紙を生産する工程では、水が必要不可欠です。弊社では、取排水の削減を目標に、生産工程で使用した水の一部をもう一度生産工程で使用することで、取排水の削減に取り組んでいます。また、生産工程で使用した水は、排水処理を行い、国が定める基準値内のきれいな水にして、矢田川へ放流しています。その他にも、基準値を超えそうになった際の対応マニュアルや、豪雨時の対応などについて社内ルールを設け、緊急事態にも対応できる体制を整えています。



地域社会への取り組み



弊社では、地域行政、近隣企業、近隣住民といった地域社会への貢献を目標に、各取り組みを実施しています。

- 尾張旭市と災害時の水(飲料目的以外)供給に関する協定締結
- 矢田川クリーン大作戦(主催：地域環境活性化協議会)へ企業として参加し、清掃活動を行う
- 工場周辺の清掃活動(毎月実施)
- 行政活動(廃棄物減量等推進審議会、尾張旭市危険物安全協会等)へ参加
- 地域行事への協賛(市民祭、花火大会等)
- インターンシップ受け入れ(地元高校)
- 尾張旭市の消防出初式へエコペーパーJP自衛消防隊として参加、放水実演 など

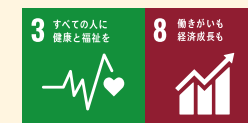


BCP

BCPとは、災害などの緊急事態の際に、事業を継続できるようにする計画の事です。弊社では、特に地震に対して、地震発生時のマニュアルを策定し、有事に備えています。また、年2回地震避難消防訓練を実施し、避難の仕方や消火器の扱い方を学んだり、ポンプ車による放水訓練を実施しています。事故や災害の報告及び対応のルールを定め、被害拡大の無いように取り組んでいます。また、再発防止のために緊急会議を開き対応や改善を実施しています。



安全衛生活動、コンプライアンス



安全パトロールやリスクアセスメント、各種安全会議や研修を実施し、無事故無災害を目標に日々安全操業に努めています。また、健康診断やストレスチェック等を実施し、従業員が心身ともに健康でいられるように努めています。

- 安全パトロールの実施
- リスクアセスメントの実施
- 安全教育や訓練の実施
- 各種安全会議の実施
- 5S活動
- ストレスチェック、健康診断実施
- ハラスメント相談窓口の設置、全従業員を対象としたハラスメント講習の実施 など

人材育成、ジェンダー平等



弊社では、従業員の育成として、資格取得の支援を行ったり、社内外含め研修を取り入れています。また、仕事と子育てを両立できるよう、産休育休制度などを整えています。性別関係なく、活躍の場を増やす取り組みを実施しています。

HRD・Gender



産休育休制度、時短勤務制度などを取り入れています



社内外で研修を実施しています



資格取得の推進支援を行っています



従業員のキャリアアップのサポートを実施しています